

# 神鉄沿線活性化へ 神戸北高生提言

## ■栗生駅■足湯や「猫の駅長」創設

## ■谷上駅■転落防止へホームドア

神戸北高校(北区唐櫃台2)で4日、神戸電鉄沿線の活性化をテーマにした発表会が開かれた。事前に出前授業をした神鉄社員を前に、1年生の代表13人が発表。キッチンカーや足湯などで駅の名物を作ったり、ホームドア設置で安全性を向上させたりするなど、それぞれのアイデアを示しながら地域課題の解決策を提案した。

同校はキャリア教育の一「ごい」をつくるべき」と主張で、昨年から神鉄社員を張。足湯や「猫の駅長」創招いた出前授業を実施。今設などのアイデアを紹介した。年1月に経営企画部長のた。

松本修治さん(53)が講師を務め、神鉄の歴史や地域の現状を伝えている。

昨年は生徒が書面に提言をまとめたが、今年は直接伝える場を設けた。出前授業後、1年生全員が調べたり、スライドを作成したりした。この日は代表の13人が発表に臨んだ。

ビデオ通話で各教室や神鉄本社、神戸市役所などにもつなぎ、発表内容を共有した。栗生駅(小野市)の活性化策として、田原愛夏さん(16)は「『ちよっとす

## 講師の社員を前に 昨年から出前授業

駅の安全に焦点を当てたのは、高田花さん(16)。谷上駅に、転落を防止するホームドアを設置し、ベンチの向きも変えることを勧め、「(駅を)今より安全に使いやすく」と力説。堀井歩夢さん(16)は、同校最寄りの唐櫃台駅にキッチンカーを呼ぶ知名度向上策を唱え、「(日替わりメニューで)1週間でいろんなものを食べられるように」と求めた。

同市と神鉄は、沿線のリノベーション(再生)に関する連携協定を結んでいる。生徒の発表を聞いた松本さんは「これから駅はどんどん変わっていく。意見を反映させたい」と話した。



スライドを駆使し、ビデオ通話で発表する生徒  
神戸北高校